

令和 6 年度 事業計画書（案） （ 2 0 2 4 年度）

社会福祉法人 福伸会

社会福祉法人 福伸会

令和 6 年度 事業計画書

1. 法人経営の原則の遵守

当法人は、令和 6 年度事業を執行するに際し、法人定款第 3 条に規定する法人経営の原則を遵守する。

【法人定款】

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活及び社会生活に支援を必要とする者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

2. 経営理念と基本方針

【理念】

- (1) 私たちは、ご利用者の尊厳を大切にし、心のかよった支援を行います。
- (2) 私たちは、地域とのつながりを大切にし、笑顔に満ちたふれあいの拠点をつくります。
- (3) 私たちは、ご利用者の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人を作ります。

【基本方針（目標）】

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努め、地域社会に貢献する取組として、日常生活及び社会生活に支援を必要とする者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

3. 事業運営

① 第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営 地域密着型特別養護老人ホーム ときわ苑

② 第二種社会福祉事業

老人居宅介護支援事業の経営 ヘルパーステーションえがお

③ 公益事業

有料老人ホームを経営する事業 住宅型有料老人ホーム花笑（はなえみ）

4. 本年度の主な施策

（1） 経営組織の強化

- ・人材の確保
- ・職員の採用計画、組織体制強化づくり

（2） 安心できるより良いサービス提供の実現

1. サービスの質の向上
2. 社会資源の最大活用
3. それぞれの持ち場を守る
4. 基本理念に基づき、事業所間・職種間のより一層の連携を図り、総合力を高め、利用者支援の質の向上をはかる。

（3） 利用者への支援

1. 利用者の権利擁護の堅持、虐待防止・ハラスメント防止対策の周知・啓発
2. 各種行事の拡充
3. 健康管理（入居者の検診実施）

（4） 人材育成・研修システムの充実

1. 人材の育成

法人の理念や方針を明確化し、体系的な研修の機会を確保し、必要なスキル・意識を習得できる研修計画に取り組む。また、資格取得への支援、キャリアパスの仕組みの確立により、将来像を描ける職場づくりを進める。

2. 人材の定着

労働災害（メンタルヘルス、腰痛防止等）やハラスメント防止策の職場環境、職員間で「認めあう・感謝しあう」コミュニケーション環境を持つ職場づくりを行い、仕事と生活の両立ができる「働きやすい職場づくり」に取り組む。

法人を支える中堅職員の育成、研修への参加

（5） 財務管理

1. 公益事業の居室稼働率を向上させ収益の改善を図ることにより健全経営を目指す。
2. 部門毎計数に基づく運営管理を行い、計画達成へのモチベーションを高める。

3. 情報の早期収集により、社会情勢の変化に対応できる体制を創る。

(6) 苦情受付及び第三者委員の配置

苦情解決における客観性と社会性の確保 第三者委員 2 名

(7) 事業経営の透明性の推進

事業経営状況のホームページ等による公表

(8) 事業継続による生活の確保・維持

感染症対策と事業継続の強化

「感染リスクとの共存」の意識を持ち、感染症への正しい知識・情報を収集し、マニュアルの策定、感染症 B C P の活用、職員研修、施設内感染症対策を実施する。

災害時の事業継続に向けた取り組みの強化

災害発生時に事業継続を実施するうえで、事業の優先順位、人員体制の確保等を災害時の B C P の活用で明確にするとともに、的確な避難運営のための訓練等を実施する。

非常災害対策・地域との連携強化

非常災害対策（計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難訓練等の実施等）を構築し、地域との連携強化のため、地域住民参加型の訓練を拡大を考える。

第一種社会福祉事業

地域密着型特別養護老人ホームときわ苑

[施設目標]

令和 6 年度

法人理念を遵守し、ご利用者が常に心身ともに安心して生活できるよう、職員個々が自己研鑽に努め、「介護の質」の向上に努め、仕事と生活の両立ができる「働きやすい職場づくり」に取り組む。

[ユニット目標]

一丁目

・一人一人の個性を尊重し、思いやりを持ってチームで支援する。

二丁目

・ユニットケアについて、今一度振り返り自分自身を見つめ直し、お互いを評価し合い成長していく。

三丁目

「伝える力・受け取る力・行動する力を身につける」〈目標を達成する為の行動〉
・相手にどう話せば伝わるか！を考えながら話す。

- ・話をする際は、否定をせず話す。
- ・相手に伝わったか、確認をする。
- ・相手の話を最後まで聞き、何を伝えたいか理解する。
- ・理解出来るまで聞く。
- ・感情を入れずに話す、聞く。
- ・自身の意見だけでなく、周りの意見も聞き、受け入れる。
- ・率先して、自ら行動する。(私がやりますの心)
- ・思った時に行動する。(※好き勝手に行動するのではなく、順序を踏んだ上で行動する。)

● 委員会

委員会	内容
虐待防止検討化委員会・介護ロボット評価委員会	・虐待防止のための指針の厳守。 ・隔月に1回会議を行なう。 ・介護負担軽減機器（用品）使用の研修開催。（外部講師） ・正しいオムツ装着の講習開催（外部講師） ・24Hシートの活用について（講師 ユニットリーダー） ・AED操作講習会開催 ・個別支援（排泄チェック表等各種）について作成・改変を実施する。 ・介護ロボット活用支援方法について
感染対策委員会	・隔月に1回会議を行なう。 ・季節による感染症予防の研修・勉強会について協議する。 ・新型コロナウイルス感染対策セミナー参加。 ・業務継続計画に基づき、必要な研修及び訓練を定期的実施する。
身体拘束等適正化委員会・事故防止検討化委員会	・身体的拘束等の適正化のための指針の厳守。 ・隔月に1回会議を行なう。 ・事故報告書・ヒヤリハット報告書をもとに、支援上のリスクや身体拘束予防について協議・対策を図る ・事故発生の防止のための検討会 ・毎月、施設内巡視を実施しチェックを行う。 ・身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施。
給食委員会	・7・11・3月の委員会の開催。 ・入居者の嗜好調査や行事食の提供。
苦情解決委員会・広報担当委員会	・必要に応じ随時の開催 ・年2回の広報紙の作成

● 施設設備管理業務

施設設備の保守点検委託業務	- エレベーター（リモート点検、技術員点検、法定検査）毎月1回 - 防災設備（法定点検）年2回 - 電気設備（法定点検）隔月 6回/年 - 受水槽清掃（法定検査） - 厨房設備の害虫防除（法定点検）2回/年 - 建築設備の定期報告（建物）1回/年
---------------	--

● 防災対策

消防計画に基づき、消防署の指導による消防訓練の実施

訓練項目	実施月
通報・初期消火・避難訓練（総合訓練）	6月
火災避難訓練（夜間想定）	2月

● 研修

① 施設内研修

研修名	対象者	講師
身体拘束について 高齢者虐待と身体拘束①～⑤ リスクマネジメント	全職員 (随時)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
看取り介護①～④ コロナ感染症対策①～③ 非常時災害の対応①～② 介護事業所におけるハラスメント対策	全職員 (随時)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
組織で働くということ① 組織で働くということ② 組織で働くということ③ 介護現場における仕事のルール 介護スタッフとしての心構え	全職員 (随時)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
個人情報保護について	全職員 (随時)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)

法令遵守について 職業倫理について	全職員 (随時)	積水ホームテクノ (株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
口腔ケア用品の使用方法について	全職員	ハクゾウメディカル株式会 社
その他、随時必要に応じて出席する		

研 修 内 容	対 象 者	講 師
ユニットケア研修	全職員	ユニットリーダー
オムツ研修	全職員	カミ商事株式会社
A E D 操作研修	全職員	(株)サンメディカル
採用時研修	新規採用時	ユニットリーダー
その他、随時必要に応じて実施		

② 施設外研修

研修名	開催予定	職 種
虐待防止研修 (基礎) 虐待防止研修 (応用)	6 月	介護・看護職員
リスクマネジメント講座	1 0 月	ユニットリーダー・介護支 援専門員・介護職員
O J T 研修	1 0 月	ユニットリーダー
メンタルヘルス研修	1 0 月	管理者、ユニットリーダー
その他、随時必要に応じて出席する		

③入職時研修

研 修 名	対 象 者	講 師
-------	-------	-----

組織で働くということ①～③ 介護スタッフとしての心構え 言葉遣い 介護事業における職種と役割①～② 認知症研修 コロナ感染症対策①～③	入職者 (随時)	積水ホームテクノ (株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
--	-------------	--

④入職後 1～2 年未満者研修

研 修 名	対 象 者	講 師
個人情報について プライバシー保護について 法令遵守について 職業倫理について 高齢者虐待と身体拘束①～⑤ アンガーマネジメント①～③ 感染症対策の基礎知識 ヒヤリハットの大切さ 事故防止とヒヤリハット活動	全職員 (随時)	積水ホームテクノ (株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)

● 諸会議の開催

会 議 名	主宰者	開 催 月
ユニット会議	ユニットリーダー	毎月 1 回実施
定例会議	施設長	毎月 1 回実施
入居判定会議	施設長	毎月 1 回開催
感染症予防委員会・身体拘束廃止・事故予防委員会・介護向上委員会	委員長	隔月 1 回実施

● 行事年間計画

月	年 間 計 画	詳 細
4 月	桜観賞会	入居者・職員
5 月	健康診断 ときわ苑運営推進会議 理事会・監事監査 職員研修会 総合避難訓練（避難・通報・消火） （消防署立会）	入居者 職員 市役所職員 職員 地域住民 家族 食中毒の予防について 入居者、職員 入居者・職員・地域住民
6 月	理事会・評議員会 あやめ鑑賞	入居者・職員
7 月	ときわ苑運営推進会議 夏祭り	市役所職員、職員、家族、地域 住民
8 月	ソフトクリームを楽しむ会	入居者・職員
9 月	ときわ苑運営推進会議 敬老会	市役所職員 職員、家族、地域 住民 入居者・職員・家族・地域住民
10 月	紅葉ドライブ or 秋の味覚を楽しむ会 理事会	入居者・職員
11 月	ときわ苑運営推進会議 インフルエンザ予防接種	職員、家族、地域住民 入居者
12 月	クリスマス会 インフルエンザ予防接種 ・健康診断 理事会	職員 職員（夜勤者）
1 月	ときわ苑運営推進会議 新年ご祈祷・小正月行事	市役所職員 職員、家族、地域 住民 入居者・職員
2 月	避難訓練（夜間想定避難・通報）	入居者・職員
3 月	ときわ苑運営推進会議 理事会・評議員会	市役所職員 職員 地域住民 家族

第二種社会福祉事業

ヘルパーステーション えがお

[事業所目標]

当訪問介護事業所は介護サービス計画書により、要介護状態となった利用者様が可能な限り、その個々の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供する。

[職員目標]

利用者様の生活様式及び人格を尊重し、できる限り自立した生活を送れるよう支援します。

- ① サービス内容の質を確保するため、ケアプランに基づき、よりきめ細やかなサービスを提供する。また、統一した支援や介護ができるよう、介護技術の研修や実習を行なう。
- ② 事業所内において、ケア会議を持ち、利用者様の持っているニーズの把握や問題等を早期に分析し、解決に向けて取り組んでいくと共に介護者の立場も同時に考慮し支援していく。
- ③ 潜在能力を引き出し、機能低下の予防を図る。
- ④ 介護者の抱えている様々な問題への支援を行う。
- ⑤ 利用者様のニーズを把握し、日常生活を安全かつ安心して送れるよう支援する。
- ⑥ 利用者様とのコミュニケーションを図りながら、本人のできることは本人ができるよう支援する。
- ⑦ 居宅介護支援事業所との連携を図り、新規利用者の拡大に努める。

● 諸会議の開催

会 議 名	主宰者	開 催 月
ヘルパー会議	ヘルパー管理者	毎月1回実施 他、必要時に開催

● 職員研修

研 修 名	対 象 者 (実施月)	講 師
倫理及び法令遵守、接遇に関する研修 プライバシー保護の取り組みに関する研修	職 員 (6月)	積水ホームテクノ(株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
高齢者虐待と身体拘束に関する研修 ①～⑤	職 員 (8月)	積水ホームテクノ(株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
感染症の基礎知識(新型コロナ感染症含む) 感染症と食中毒について①～⑤	職 員 (10月)	積水ホームテクノ(株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
緊急時の対応について 事故防止とヒヤリハット活動 事後発生、再発防止について	職 員 (12月)	積水ホームテクノ(株) 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)

その他、随時必要に応じて出席する。

● 行事年間計画（住宅型有料老人ホーム花笑と合同）

月	年 間 計 画	詳 細
4 月		
5 月	職員研修会 健康診断	職員
6 月	総合避難訓練	避難・通報・消火（消防署立会）
7 月	夏祭り（施設敷地内）	入居者、職員、家族
8 月		
9 月	敬老会	入居者
10 月		
11 月	インフルエンザ予防接種	職員
12 月	クリスマス会	入居者
1 月	祈祷式	職員・入居者
2 月	避難訓練	避難・通報
3 月	ひな祭り	入居者

● 委員会（社会福祉法人 福伸会 全体）

委員会	内容
事故防止検討委員会 身体拘束適正化検討委員会	・2 か月に1 回開催。 ・事故報告書・ヒヤリハット報告書をもとに、支援上のリスクや身体拘束予防について協議・対策する。
虐待防止検討委員会	・虐待防止のための指針の厳守。 ・隔月に1 回会議を行なう。 ・介護負担軽減機器（用品）使用の研修開催。（外部講師） ・正しいオムツ装着の講習開催（外部講師）

	・ A E D操作講習会開催
感染対策委員会	・ 隔月に 1 回会議を行なう。 ・ 季節による感染症予防の研修・勉強会について協議する。 ・ 新型コロナウイルス感染対策セミナー参加。 ・ 業務継続計画に基づき、必要な研修及び訓練を定期的実施する。

公益事業

住宅型有料老人ホーム花笑

[施設目標]

利用者様の生活補助や個々のニーズに対応し、安心して生活できる住宅を提供する。また、夏場においての効果的な営業活動の実施に努め高稼働率を維持継続できるようにする。

周辺地域では、ショートステイを閉鎖する施設も見受けられる。今後は、短期間利用のニーズが多くなると予想されます。有料老人ホームでも、柔軟に対応できるよう整備していきたい。

[職員目標]

- ① 利用者様にとって健全で快適な生活環境を提供します。
- ② 全職員がプライバシーの保護や倫理等のコンプライアンスの徹底に努めます。
- ③ 入居者数について平均 37 名の入居者数を目標とします。
- ④ 居宅支援事業所及び医療機関への営業活動に努めます。
- ⑤ 商業施設等に案内パンフレットを置かせて頂いての営業活動に努めます。

● 委員会

委員会	内容
給食委員会	7・11・3月の委員会の開催。

●施設設備管理業務

施設設備の保守点検委託業務	- エレベーター（リモート点検、技術員点検、法定検査）毎月1回 - 防災設備（法定点検）年2回 - 電気設備（法定点検）隔月 6回/年 - 受水槽清掃（法定検査） - 厨房設備の害虫防除（法定点検）2回/年 - 建築設備の定期報告（建物）1回/年
---------------	--

●防災対策

○消防計画に基づき、消防署の指導による消防訓練の実施

訓 練 項 目	実 施 月
通報・初期消火・避難訓練（総合訓練）	6月
火災避難訓練（夜間想定）	2月

●諸会議の開催

会 議 名	主宰者	開 催 月
管理者会議	施設長	毎月1回実施
給食委員会	委員長	年3回実施

●職員研修

研 修 名	対 象 者	講 師
施設サービスについて 高齢者向けの住まい	職 員 (6月)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
訪問介護で出来ること 訪問介護で出来ないこと 記録の書き方	職 員 (9月)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
事故対応の心構え 緊急時の対応 非常災害時の対応について	職 員 (12月)	積水ホームテクノ（株） 佐藤 慎也 氏 (インターネット動画)
その他、随時必要に応じて出席する		

● 行事年間計画

月	年 間 計 画	詳 細
4 月		
5 月	健康診断 総合避難訓練 避難・通報・消化（消防署立会）	職員 職員・入居者
6 月	職員研修	職員
7 月	夏祭り（施設敷地内）	入居者、職員、家族
8 月		
9 月	敬老会 職員研修	入居者 職員
10 月		
11 月	インフルエンザ予防接種	職員
12 月	クリスマス会 職員研修	入居者 職員
1 月	祈祷式	職員・入居者
2 月	運営懇談会 避難訓練（夜間想定避難・通報）	職員・入居者 避難・通報
3 月	ひな祭り	入居者

※不定期でローソン移動販売